

# 福祉のかけ橋

南山見地区社協

一般相談

相談事業

日常生活における  
いろいろな相談に  
応じます。



●お電話・来所、  
いずれでも  
結構です。

(0764) お電話は、  
シルバー110番へ。

よい シルバー 110ばん  
**41-4110**

個人の秘密は、  
固く守ります。

●  
相談は、無料です。  
お気軽にどうぞ。

心は裕福に 体は健康に

富山県高令者総合相談センターが  
昭和六十三年七月二日、県社会福祉  
会館内に開設されました。

井波町には、シルバー仕合と電話  
グループで電話相談を開設して、皆  
様に役立つことを願っておりますが  
開設日が少なく由誤なく思っております。  
しかし今度開設された、県の  
相談電話は、日曜祭日以外毎日開  
かれています。

いつでも利用できることと相談員  
は、医師・弁護士・税理士、保健婦  
等に委嘱されています、町の仕合せ  
電話と連携をとりたいと思います。  
悩みは健康が一番悪いことですか  
ら、心はいつも明るく、裕福に、体  
は健康に努めていただくことを希  
つております。

南山見地区社長の  
事業推進について

曰何何かとお力添へて賜  
り厚くお礼申しあげます。当  
会は発足して二年目を迎えま  
した。また、また地固めの中であり  
頑固つております。

最近地域福祉は、ボランテ  
ィアからと言われるとおり、  
地区福祉も重要事業として取  
りくみ、福祉の勉強会、県の  
ボランティアアカレツジ等に、  
多数のご参加あり感謝いたす  
と共に、対策強化につとめて  
います。

これから何時までもハイ  
でなく一歩でも二歩でも前  
進したいと思っておりますのでご協  
力を、お願いいたします。

南山見地区社長

会長 山崎乙次郎

(二) 子 算

収入

科 目	金 額 千円	説 明
1. 会 費	116	一般 300円 役員 1,000
2. 補助金	50	町社費
3. 繰越金	73	
4. 諸収入	1	
計	240	

支出

科 目	金 額	説 明
1. 会議費	5	印刷等
2. 事務費	25	
3. 福祉費	160	福祉団体 ボランティア
4. 育成費	40	
5. 雑 費	10	
計	240	

収支差引残金なし

63年度

(一) 事業

1. 地域福祉の推進

寝きり老人、一人暮らし

老人の反愛訪問

(老人クラブ婦人部)



南山見地区社長

高令者託老所の育成  
(奉仕者募集)

2. 福祉の勉強会開催
3. 百才長寿者慰問
4. 先進福祉地区の視察
5. 在宅福祉サービスの推進
6. 地区内関係の円電
7. 福祉のかけ橋の発行
8. ボランティアの育成
9. その他

福祉を育む地域は楽しい明日が待っている

思いやりの心芽生える

### 福祉の勉強会

福祉講座



在名福祉サービスの実践とボランティア活動の理解を高めようと、福祉の勉強会を開催しました。

会場 南山見公民館

開講 毎回午後七時三十分

6・28(火)生涯教育と地域福祉

県社教委員 松原 善一

7・8(金)郷土の自然に親しむ

県庁をラリスト 松岸 博之助

7・18(月) 育て伸ばし広めよう

思いやりの心

高岡市 中田小学校

校長 早苗 俊枝

各講師は心よく快諾下さり、福祉のすすめ方や、社会の現

状をふまえた熱心な講義をいただき感謝しています。

福祉を新しい視点で見直し、地域の仕合せに、在名福祉サービスの向上に、努めをゆきたいと思っております。

### 青年団の電話帳

### 全戸配布に感謝

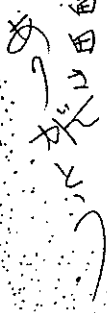
青年団では、地区電話帳を更進するにあたり、地域性と利用度が高めようと、家族名に屋号を加えた、ユニークな企画で今春再編集して来たところでした。

この努力が実り今年七月完結し地区内全戸に配布しました。ご苦労祈りました。

長寿の手本を実践

箭原さん

富田さん



井波町長寿一位。

教之

百才のご両名を祝福申し、ご健康を祈つてきました。ご令度相つりてなうれしました。

○箭原 つや 連判寺八五

明、2/10、20、生れ

昭、2/10、20、死

○富田 ちる 沖ノ七

明、2/11、10、生れ

昭、2/11、10、死

日頃、ご両名様ことのほか

お元気な方でしたので、満百

才の「百寿」を、祝がつてい

ました。惜別いたさず、ご

謹しんで、冥福を、お祈りし

うします。

歴史  
散策  
神明社

沖村

大寺山の一带は千数百年の昔から住む人あり、砺波地方でも勝れた文化の発生の地と伝えていきます。

沖村は千谷川、中江川、西大谷川の合流地であり肥沃な自然の恵とあつて、昔からひうけ信仰の厚い処です。



沖の神明社  
子供の広場もあります。

氏神は、沖三六六三番地に鎮座しています。創立は不詳ですが今から二三〇年前の室正九年（一七五九年）神社調べ書に、井波村大城寺分として、神明宮 沖村氏神とあり現存する宮の古い部類です。

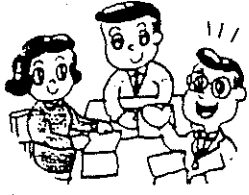
また文政七年の由緒並に持宮御尋ニ附書ニ帳には、北野村海來寺持宮として、氏神、神明社 沖村とありませう。昭和七年十月 乙卯社を合祀  
祭神 天照皇大神 火総神  
宮司 井口村 伊頭克彦  
境内 二四六坪  
大祭 春、秋

今では昔を物語る、古文書は「ざいもせんが、口碑と毎年杜厳に執り行なわれる、春秋の祭礼に古さしのぼるとのがあります。（以世美止部川）

編集 だより

福祉活動を広くとりあげたいと思ひます。皆様のご意見と、お寄せ下さい。

今度 数之百才のご両名が流れてなくなられましたことは誠に残念です。昭和十年に戸板の朝念小三郎さんが、百三才で天寿を、全うされて以来のことでした。ご冥福をお祈り申します。



発行 昭和、ア、ウ  
事務所 南山見公民館  
井波町川原崎一五五  
発行所 南山見地区社協

井波町ボランティアセンター